

令和2年度 事業報告書

第1 交通情勢

令和2年中における県内の交通事故発生状況は、次のとおりである。

- 発生件数 1, 658件 (前年対比 -310件 -15.8%)
- 死者数 46人 (前年対比 1人 2.2%)
- 傷者数 1, 953人 (前年対比 -427人 -17.9%)

発生件数、負傷者数は減少したものの死者数は横ばいであったが、第10次岩手県交通安全計画に掲げている「年間の交通事故死者数50人以下、交通事故発生件数1,900件以下、死傷者数2,400人以下」という全ての目標を達成した。しかしながら、発生した交通事故を違反別等で見ると、飲酒運転や歩行者保護義務違反等の悪質危険違反によるものが後を絶たないほか、高齢者の死者数も全死者の約7割(31人、67.4%)を占めており、県内の交通情勢は予断を許さない情勢にある。

第2 協力会費の収納業務

盛岡運転免許センター等における入会状況は、次のとおりである。

- 更新会員 10, 227人 (前年度対比-1, 453人 -12.4%)
- 新規会員 339人 (前年度対比- 37人 - 9.8%)
- 計 10, 566人 (前年度対比-1, 490人 -12.4%)

協力会費の総額は、24, 323, 500円(前年度対比-3, 555, 500円、-12.8%)となり、入会者の住所地を管轄する地区交通安全協会(以下「地区安協」という。)に送付している。

第3 会員対策の推進

1 窓口業務の推進状況

(1) 盛岡運転免許センターでは、交通安全協会(以下「協会」という。)の活動に対する理解が得られるように、協力会費の趣旨や活用方法等を記載した看板を協会窓口に掲示しているほか、運転免許更新者用入口に設置してあるテレビで協会の活動事例等を紹介するパワーポイント映像を放映し、入会の勧誘を行った。

また、交通事故見舞金制度やチャイルドシート等の貸出など、会員特典を説明するとともに、希望者には運転免許証ケースのほか、セーフティドライブマップ岩手を配付して入会の勧誘を行った。

(2) 協会の活動を紹介したパネルを盛岡運転免許センター内に掲示した。

(3) 盛岡運転免許センターは、公共の場所となることから入会の勧誘に当たっては誤解を招くような言動を行わないことや、あくまでも任意加入であることを説明するよう配慮した。

(4) 岩手県交通安全協会(以下「県安協」という。)では、チャイルドシート等の貸

出時や各種活動を通じて、協会の役割や具体的な活動内容等を説明しながら入会の勧誘を行った。

2 交通安全活動協賛店制度の推進状況

平成31年4月1日から交通安全活動協賛店制度を開始し、各種会合やイベント等あらゆる機会を捉えて新たな会員特典の周知を図りながら入会の勧誘を行った。

昨年3月末現在の交通安全活動協賛店数は208店舗であったが、本年3月末現在では、35店舗増（昨年、3店舗廃業）の240店舗となっている。

3 体験型講習会等における推進状況

各種講習会やイベント等において自転車シミュレータやクイック・アーム等の教育資器材を活用した体験型交通安全教育を行った際には、協会の役割や具体的な活動内容等について広報しながら入会の勧誘を行った。

4 広報活動の推進状況

マスコミを通じての広報を実施したほか、当協会ホームページに各地区安協の交通安全活動等を写真で紹介した。

また、若年者の入会向上対策として、スマートフォンサイトを設けて協会の活動や入会特典等の広報を行った。

第4 交通安全対策の推進

1 活動の推進状況

警察及び関係機関・団体との連携を図り、岩手県交通安全対策協議会（以下「交対協」という。）が主唱する令和2年度「正しい交通ルールを守る県民運動」実施要綱に基づき、次の活動を重点として推進した。

(1) ライトの早め点灯・反射材用品等の着用

夕暮れ時・夜間の歩行者が関係する事故は、発見の遅れが要因の一つであり、特に9月以降、日没後の重大事故が多発することから、相互に気付き気付かせる「ライトの早め点灯」「反射材・LEDライトの着用」等の「3（サン）ライト運動」を推進した。

「3（サン）ライト運動」とは、

- ① ライトの早め点灯、原則上向きライト（ハイビーム）走行

※ 9月21日（秋の全国交通安全運動初日）から3月31日までの間は、午後4時からのライト早め点灯を呼び掛ける。

- ② 反射材用品、LEDライト等の着用

- ③ 右からの横断者、左からの車に注意

をいう。

(2) 運転者の歩行者保護意識の醸成と道路横断者の交通マナーの向上

歩行者の道路横断中における死亡事故が多いことから、運転者の横断歩道での歩行者有無の確実な確認や道路横断者の左右の確実な確認などの実践による歩行者保護意識の醸成と交通マナーの向上を図った。

(3) スピードダウンの徹底

スピードの出し過ぎは、運転者の視野を狭くし、危険の発見や緊急時の判断を遅

らせるほか、交通事故時の衝撃が大きくなるなど、重大な交通事故をもたらすことから、制限速度を守ることはもちろん、交通環境や道路状況に応じた安全な走行速度の実践を推進した。

(4) 飲酒運転の根絶

少しのアルコールでも運転に影響を与え、また、事故当事者の人生にも多大な影響を与える重大な犯罪である飲酒運転の根絶を目指した。

2 交通安全活動資料等の作成・配布

各季節の交通安全運動を中心に広報資料等を作成し、地区安協及び関係機関・団体等に配布した。

○ 春の全国交通安全運動用ポスター	1, 000 枚
○ 秋の全国交通安全運動用ポスター	1, 000 枚
○ 冬の交通安全県民運動用チラシ	14, 000 枚
○ 黄色い羽根	49, 000 本
○ 高齢者の交通事故防止啓発ポスター	400 枚
○ 夏・冬の交通安全県民運動用ポスター	8, 800 枚

3 交通安全資器材レンタル事業の推進

(1) チャイルドシート等の貸出

自動車乗車中の子どもの被害軽減を図るため、チャイルドシート、ジュニアシートのレンタル事業を実施し、会員等延べ204人（前年度対比-328人 -61.7%）に230台（前年対比-411台 -64.1%）を貸し出し、正しい装着の仕方を指導するなど、会員サービスの向上とチャイルドシート等の普及促進を図った。

なお、令和2年度中は、ゴールデンウィークやお盆、年末年始といったチャイルドシート等の貸し出しが集中する期間に、他県に住んでいる家族が新型コロナウイルス感染防止のため帰省を見合わせたことから貸出台数が減少したものと料される。

(2) 交通安全教育DVDの貸出

内容の充実した交通安全教育DVDの整備に努めるとともに、団体や事業所、学校に計127本（前年度対比-215本 -62.9%）のDVDを貸し出すことで、交通安全教育の支援と交通安全意識の向上を図った。

4 会報の発行

各種交通安全施策をはじめ協会の活動状況を紹介した機関紙「交通いわて」を、年3回合計21,000部発行して関係機関・団体に配布し、協会の活動について更なる理解と支援の促進を図った。

5 各種メディアを活用した広報活動

(1) IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手朝日テレビ、岩手めんこいテレビ及びエフエム岩手の協力を得て、交対協が主唱する「令和2年度正しい交通ルールを守る県民運動」の各季節運動期間を中心に、協会のロゴ入り交通安全キャンペーン放送やスポット放送を行うとともに、新聞（岩手日報、読売新聞、産経新聞）に交通安全運動キャンペーンを掲載して広報活動を推進した。

- (2) ホームページに、道路交通法の一部改正や交通事故防止に関する情報など、事業所や運転者が必要としている交通安全情報をタイムリーに掲載し、交通安全の知識と協会活動に対する理解を深める広報を推進した。

6 参加・体験型交通安全教育資器材の活用

関係機関・団体が主催するイベントや交通安全教室等に、自転車シミュレータ、酒酔い運転体験ゴーグル、クイック・アーム等の交通安全教育資器材を貸し出すことで、県民の交通安全意識の高揚と協会の活動に対する理解の促進を図った。

- 貸出回数 62回（前年度対比－ 84回 －57.5%）
- 受講者総数 3,990人（前年度対比－6,062人 －60.3%）

第5 会議の開催

1 正・副会長会議及び理事会の開催

(1) 5月14日（木）県安協会議室

第1回正・副会長会議を開催し、定時総会の議題について協議した。

また、監事による令和元年度決算に対する監査会も実施された。

(2) 5月21日（木）県安協会議室

第2回正・副会長会議及び第1回理事会を開催し、令和元年度事業報告及び同収支決算書、令和2年度事業計画（案）及び同収支予算書（案）、令和2年度定時総会提出議案等について審議した。

(3) 6月2日（火）サンセール盛岡

定時総会当日、第3回正・副会長会議、第2回理事会を開催し、総会議題の最終打合せを行った。

また、総会終了後、第2回理事会を開催して役員を選任について審議し、選任された。

(4) 11月26日（木）県安協会議室

第4回正・副会長会議及び第3回理事会を開催し、令和2年度上半期の予算執行状況について審議した。

2 定時総会の開催

6月2日（火）サンセール盛岡

令和元年度事業報告及び同収支決算書の承認、令和2年度事業計画（案）及び同収支予算書（案）について審議した。

3 事務局長会議の開催

本年3月4日（木）県安協会議室で事務局長会議を開催し、当面の協会運営上の諸問題等を協議した。

第6 会議等への出席

1 東北交通安全協会総会等

6月18日（木）盛岡市内において開催される予定であった東北交通安全協会総会をはじめ東北・北海道交通安全協会専務理事・事務局長会議、（公財）日本交通管理技術協会東北・北海道ブロック会議、東北交通安全協会専務理事会及び都道府県交通安全協会専務理事会が、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

2 正しい交通ルールを守る運動県民大会

1 1月13日（金）盛岡市内において開催され、岩手県交通安全協会長が交通安全功労者等に対し岩手県交通安全対策協議会長表彰を授与した。

3 その他

職員等に対する研修会として、道路使用適正化業務担当責任者全国研修会、地域交通安全活動推進委員全国研修会及び東北交通安全協会職員研修会が開催される予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

第7 交通安全競技会及び講習会の開催

1 第53回交通安全子供自転車岩手県大会（共催：岩手県警察本部 後援：岩手県）

児童に対する交通安全思想の普及、交通ルール及び交通安全の知識・技能を習慣付けさせることを目的として、7月6日（月）岩手県営運動公園内の交通公園において開催することとしていたが、共催者である岩手県警察本部と協議した結果、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

なお、7月8日（水）奥州市立玉里小学校で校内大会が開催され、来賓として県安協職員の出席を要請されたことから、職員を派遣し激励した。

2 二輪車安全運転岩手県大会 2020

（共催：岩手県二輪車普及安全協会 後援：岩手県警察本部）

二輪車の安全運転の知識と技能の向上を図り、交通事故の防止に資することを目的として、6月28日（日）岩手県自動車運転免許試験場において開催することとしていたが、共催者である岩手県二輪車普及安全協会と協議した結果、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

3 シニアドライバースクール

（共催：日本自動車連盟岩手県支部 後援：岩手県警察本部）

7月18日（土）、8月22日（土）の2日間、岩手県自動車運転免許試験場において、高齢運転者の交通事故防止を図るため、参加・体験型の交通安全講習会「シニアドライバースクール」を開催することとしていたが、共催者である日本自動車連盟岩手県支部（JAF）と協議した結果、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

4 グッドライダーミーティング

（共催：岩手県二輪車普及安全協会 後援：岩手県警察本部等）

7月12日（日）、9月6日（日）の2回にわたり、岩手県自動車運転免許試験場において、二輪運転者の交通安全意識と技能の向上を図るため、参加・体験型の交通安全実技講習会「グッドライダーミーティング 2020」を開催した。

なお、5月17日（日）に第1回グッドライダーミーティングを開催することとしていたが、共催者である岩手県二輪車普及安全協会と協議し、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

第8 各季節交通安全運動等の推進

- 春の全国交通安全運動 （4月6日～4月15日）
- 交通事故死ゼロを目指す日 （4月10日、9月30日）

- 自転車の安全利用推進期間 (5月 8日～ 5月17日)
- 夏の交通事故防止県民運動 (7月17日～ 7月26日)
- 秋の全国交通安全運動 (9月21日～ 9月30日)
- 冬の交通事故防止県民運動 (12月15日～12月24日)

上記交通安全運動等の効果的な推進を図るため、警察及び関係機関・団体と連携し、広報資料の配布やラジオスポット放送、広報車による広報等を重点として推進した。

第9 交通安全功労者等の表彰

1 警察庁長官・全日本交通安全協会長連名表彰

警察庁長官・全日本交通安全協会長連名表彰等は、例年、東京都内で開催される「交通安全国民運動中央大会」の席上で表彰されることとなっているが、令和2年度の大会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止、受賞者には都道府県から伝達することとなった。

このことを受けて、当県では、本年2月4日(木)「エスポワールいわて」において「交通栄誉章等表彰伝達式」を開催し、岩手県警察本部長及び岩手県交通安全協会長から受賞者等に表彰状を伝達した。

(1) 交通栄誉章「緑十字金章」

- 交通安全功労者 和野省助 (北岩手地区)
- 津田重雄 (宮古地区)

(2) 交通栄誉章「緑十字銀章」

- 交通安全功労者 佐々木春蔵 (盛岡)
- 新井田昌子 (盛岡)
- 五十嵐貞雄
- (北上地方,)
- 伊藤英宏
- (江刺地区,)

- 優良団体 佐藤郁子 (東磐井地区)
- 杉下吉身 (気仙地区)
- 優良交通安全協会 一関市立新沼保育園 (東磐井地区)
- 気仙地区交通安全協会

2 全日本交通安全協会長交通栄誉章「緑十字銅章」表彰

- 交通安全功労者 29名
- 優良運転者 82名

3 東北管区警察局長・東北交通安全協会長連名表彰

- 交通安全功労者 16名
- 優良運転者 19名
- 優良地区交通安全協会 東磐井地区交通安全協会
- 交通安全優良団体 江刺地区交通安全協会広瀬分会
- 釜石地区交通安全協会唐丹分会

4 岩手県警察本部長・岩手県交通安全協会長連名表彰(春・秋)

- 交通安全功労者 42名
- 優良運転者 402名
- 優良団体 12団体

第10 交通安全活動推進センター事業の推進

道路交通法第108条の31に基づき、岩手県公安委員会から交通安全活動推進センターとして指定を受け、次の事業等を実施した。

1 地域交通安全活動推進委員連絡協議会に関する事務

地域交通安全活動推進委員連絡協議会の連絡調整、委員が適切に任務を遂行するために必要な知識等を習得するためのブロック講習会を4回開催したほか、会報を4回発行するなど必要な事務を行った。

2 その他の事務

道路の適正な利用に関する広報活動や道路使用許可にかかる道路調査及び交通事故相談業務を適正に推進した。

- 道路使用許可調査
 - 履行状況 6,720件（前年度対比 -1,455件）
 - 回復状況 6,901件（前年度対比 -1,627件）
- 交通事故相談 0件（前年度対比 ± 0件）

第11 委託事業の推進

1 運転免許にかかる講習事業の実施

(1) 更新時講習の実施

更新時講習は、受講者の年齢層や運転経験が多岐にわたっていることから、身近に発生した交通事故を具体的事例として取り上げるなど、重点を絞った理解しやすい講習を行うように配意した。

また、特定任意講習については、同一水準の講習ができるよう、適正な会場の選定や地域の交通事情に即した講習内容となるように努めた。

- 優良運転者講習 103,472人（前年度対比 -3,651人）
- 一般運転者講習 21,977人（前年度対比 -2,717人）
- 違反運転者講習 10,087人（前年度対比 -2,621人）
- 初回運転者講習 9,230人（前年度対比 -482人）
- 特定任意講習 284人（前年度対比 -22人）
- 計 145,050人（前年度対比 -9,493人）

(2) 停止処分者講習の実施

停止処分者講習については、運転適性検査機（CRT）及びシミュレータ診断など、教育資器材の効果的な活用を図ったほか、実車指導能力向上のための研修を行うなど適正な講習の実施に努めた。

また、「飲酒学級」については、酒酔い運転体験ゴーグルによる体験型講習を実施するなど、飲酒運転防止のための取り組みを強化した。

- 長期 92人（前年度対比 -10人）

○ 中 期	1 3 6 人 (前年度対比 + 5 人)
○ 短 期	6 7 0 人 (前年度対比 - 2 7 人)
計	8 9 8 人 (前年度対比 - 3 2 人)

(3) 違反者講習の実施

社会参加活動コース参加者に対しては、より効果の上がる活動場所や時間帯の選定に配慮したほか、実車コース参加者については、法令遵守を重点とした指導を行った。

○ 社会参加活動コース	4 1 人 (前年度対比 + 1 3 人)
○ 実車コース	2 0 7 人 (前年度対比 + 2 8 人)
計	2 4 8 人 (前年度対比 + 4 1 人)

(4) 原付技能講習の実施

岩手県自動車運転免許試験場、県南及び沿岸運転免許センターにおいて、原付免許の新規取得者に対して、道路交通の実態に応じた運転実技講習を実施した。

○ 自動車運転免許試験場	1 2 9 人 (前年度対比 + 3 人)
○ 県南運転免許センター	1 4 3 人 (前年度対比 - 3 3 人)
○ 沿岸運転免許センター	2 7 人 (前年度対比 + 7 人)
計	2 9 9 人 (前年度対比 - 2 3 人)

2 その他の委託事業

(1) 自動車保管場所証明業務

自動車保管場所現地調査及び同データ入力業務を実施した。

○ 現地調査業務	7 2, 9 5 5 件 (前年度対比 - 1, 8 7 2 件)
○ データ入力業務	7 6, 6 8 5 件 (前年度対比 - 1, 5 6 2 件)

(2) パーキング・チケット管理業務

盛岡市内の時間制限駐車区間に設置されたパーキング・チケット発給設備にかかる管理及び手数料の収納のほか、同区間の適正な駐車確保に関する指導を行った。

(3) 運転免許関係業務

ア 運転免許更新連絡書、高齢者講習受講通知書等の発送業務

運転免許の更新者に対して「運転免許更新連絡書」、「高齢者講習受講通知書」及び「認知機能検査結果通知書」等の発送業務を行った。

○ 運転免許更新連絡書	1 9 3, 7 0 4 人 (前年度対比 - 1 7, 0 6 8 人)
○ 高齢者講習受講通知書	4 8, 3 0 3 人 (前年度対比 - 1, 9 2 3 人)
○ 認知機能検査結果通知書等	1, 7 7 8 人 (前年度対比 + 5 2 2 人)
計	2 4 3, 7 8 5 人 (前年度対比 - 1 8, 4 6 9 人)

イ 住所地以外の公安委員会を経由した免許証代理受領及び郵送業務

優良運転者に対して行う住所地以外の公安委員会を経由した免許証の更新申請について、免許証の代理受領及び郵送業務を適正に行った。

○ 受理件数	1 4 7 件 (前年度対比 + 4 2 件)
--------	-------------------------

(4) 交通公園管理業務

(公財) 岩手県スポーツ振興事業団から委託を受けた交通公園事業について、施

設の適正な管理と利用者の安全確保を徹底するとともに、自転車の安全な利用や正しい乗り方についての交通指導を行った。

なお、全国に緊急事態宣言が発令されたことに伴い、4月18日（土）から5月8日（金）までの3週間、交通公園を含む岩手県営運動公園内全ての施設が閉園となった。

- 交通安全講習会 21回（前年度対比 - 20回）
- 受講総人員 818人（前年度対比 - 989人）
- 一般来場者 22,051人（前年度対比 - 10,669人）

第12 部外団体イベント等への後援・協力

- IBC交通安全キャンペーン (IBC岩手放送)
- 交通安全キャンペーン放送
(テレビ岩手、岩手朝日テレビ、エフエム岩手、めんこいテレビ)
- 盛岡市交通安全教室 (盛岡市)
- 岩手県交通安全公共パネル展 (県屋外広告美術業協会)
- 飲酒運転撲滅キャンペーン (岩手朝日テレビ・めんこいテレビ)
- 黄色い手帳運動 (テレビ岩手)
- 紙芝居・絵本贈呈式 (トヨタ八社会)

第13 交通安全事業に対する寄付の受納

- 4月2日 エフエム岩手 チャイルドシート 5台
- 6月23日 岩手トヨタ自動車(株) チャイルドシート10台
- 9月17日 トヨタモビリティパーツ(株) 岩手支社
チャイルドシート 3台
- 12月10日 「小さな親切」運動岩手県本部
反射材2,764個(10万円相当)
- 2月10日 テレビ岩手 100,000円

第14 その他

1 岩手県交通安全母の会連合会の事務局業務

岩手県交通安全母の会連合会の事務局を担当し、通常総会（書面決裁）の開催及び交通安全ボランティアブロック研修DVD視聴等を通じて、連合会の円滑かつ適正な業務推進に努めた。

2 TSマーク普及のための広報活動

自転車の安全利用の推進と自転車事故にかかる被害者の救済を目的として、(公財)日本交通管理技術協会との業務契約に基づき、警察及び岩手県自転車・二輪車商業協同組合と連携してTSマークの普及のための広報を推進した。

3 自転車会員の加入促進

(一財)全日本交通安全協会が募集している自転車会員制度は、自転車利用者の交通安全意識を高め、自転車事故を防止し、自転車の安全利用の実現に寄与する目的で

あることから、その広報に努め218人（前年度対比+89人）の入会があった。

※ 自転車会員には、「サイクル安心保険（賠償額1億円）」が付帯する。

4 自転車安全教育指導員の認定等

毎年、岩手県教育委員会との共催で、自転車の安全教育に従事している交通指導員及び自転車安全教育の指導に携わる学校教諭に対して自転車の安全な乗り方指導者講習会を開催していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

5 二輪車安全運転指導員の審査等

岩手県二輪車安全運転推進委員会の業務として、1人の二輪車安全運転指導員資格の取得審査を行った。

6 交通安全功労者顕彰会の事務

交通安全活動に多大な功労があった交通警察官及び交通指導員を表彰する「岩手県交通安全功労者顕彰会」を、11月17日（火）エスポワールいわてにおいて開催し、本年度の交通安全功労者として選考された警察官1名、交通指導員2名を表彰するなど、顕彰会事務を適切に推進した。

7 県収入証紙の売りさばき事業

岩手県自動車運転免許試験場及び盛岡運転免許センター窓口において、運転免許更新申請者や各種講習受講者に対する県収入証紙の売りさばきを行い、利用者の利便を図った。